

証券コード：2453 < 東証プライム・名証プレミア >

困っている人を
助ける。 WE HELP
PEOPLE IN NEED.

JAPAN BEST RESCUE SYSTEM

JBR

JAPAN BEST RESCUE SYSTEM

決算説明資料

< FY2023/Q3 >

ジャパンベストレスキューシステム株式会社
2023年8月7日

内容	ページ
I. 決算概況	01
II. 主要指標	05
III. トピックス	08
IV. よくあるご質問	11
V. データ集	12

YouTube 説明動画
公開中

[JBR Best IR Channel](#)



売上高・営業利益共に過去最高

事業ポートフォリオの整理を推進し、主力事業の成長に集中

	FY21/Q3	22/Q3	23/Q3	前期比	
売上高	10,222	13,377	13,844	+467 +3.5%	増収 ※過去最高 保険事業を中心に主力3事業が伸長
営業利益 (売上比)	1,124 (11.0%)	1,174 (8.8%)	1,254 (9.1%)	+79 +6.8%	増益 ※過去最高 主力事業の好調に加え、責任準備金負担が低下し増益傾向へ
経常利益	1,307	899	1,249	+349 +38.9%	増益 前期に影響した自社株価予約取引を解約
親会社株主に帰属する 四半期純利益	877	373	596	+222 +59.6%	増益 前期にACTG*統合に向けたシステム開発中止に伴う損失を計上
責任準備金を除く 実質的な 営業利益	1,157	1,291	1,480	+188 +14.6%	責任準備金の影響を除くと約15%成長 責任準備金 前期116百万円 → 今期225百万円 (影響109百万円増)

*旧アクトコール社・旧TSUNAGU社

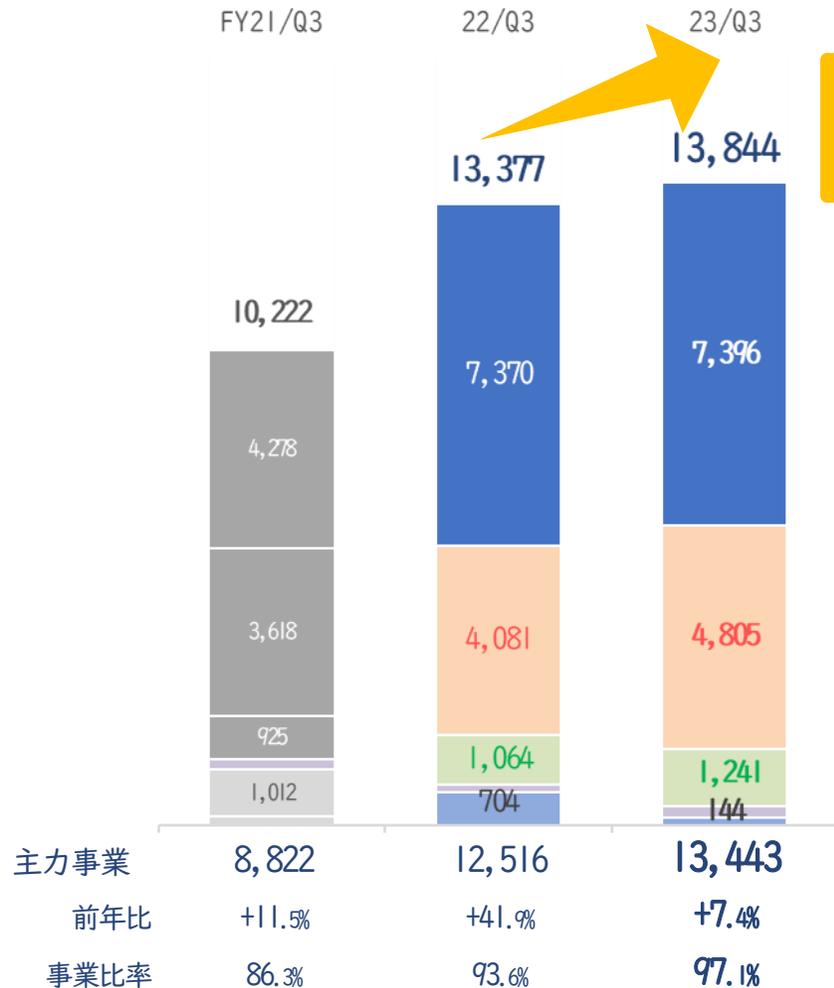
売上高・営業利益・経常利益は計画を上回る進捗

通期計画の達成、過去最高売上・営業利益の達成を見込む

	FY22 通期実績	FY23 通期予想	FY23 3Q実績	通期進捗	進捗コメント
売上高	17,810	18,300	13,844	75.7%	保険事業を中心に計画を上回る進捗 通期達成・過去最高売上を目指す
営業利益	1,459	1,650	1,254	76.0%	主力3事業とも計画を上回る進捗 4Qも責任準備金影響が軽減する一方、 会員事業でACTGの一部解約が発生 連結での通期達成を見込む
経常利益	1,173	1,500	1,249	83.3%	計画に対し投資有価証券売却益と 受取配当金により営業外収益が 上回る進捗
親会社株主に帰属する 当期純利益	437	950	596	62.8%	計画外の法人税等調整額を計上 4Qは影響度が軽減見込み ACTG繰越欠損金による税効果を見込む

保険事業が引き続き好調、主力事業はいずれも増収

駆けつけ事業の減収を上回る主力事業の成長で、増収を達成

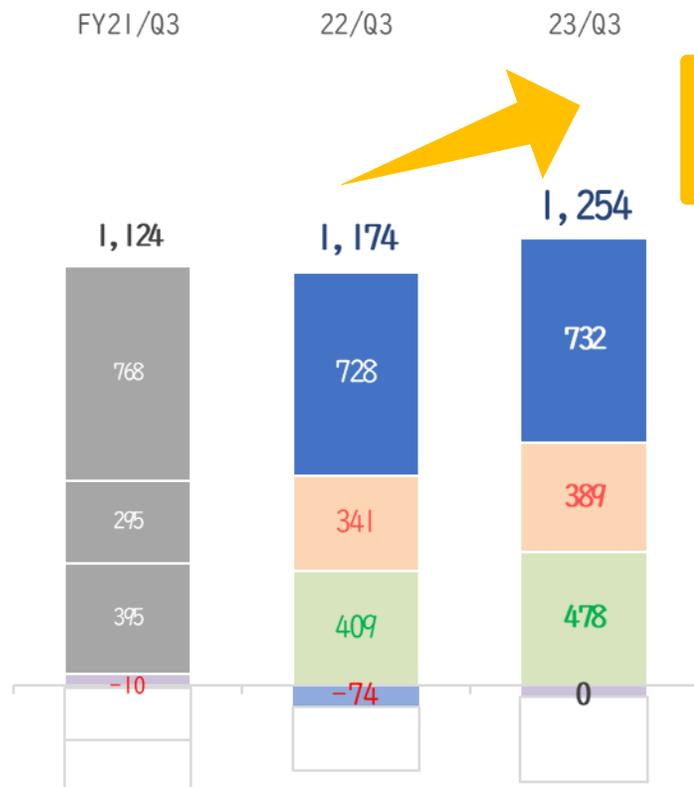


主力事業
前期比
+7.4%

項目	前期差	増減	率	説明
会員	+26	+184	+0.4%	主力会員サービスの会員増
		-157		ACTG不採算整理による会員減
保険	+723		+17.7%	被保険者の獲得が好調に推移
保証	+177		+16.7%	会員の獲得による純増
その他	+101			施工パートナーへの部材販売・JAF等による売上増
駆けつけ	-560			2022年11月末に事業譲渡を実行
調整額	-1			
前期差	+467			

各事業とも計画を上回る進捗で、過去最高益ペース

会員は受電のDX化などの費用に加え、駆けつけ事業分の配賦負担増加



主力事業
前期比
+8.2%

主力事業	1,459	1,478	1,599
前年比	+3.8%	+1.3%	+8.2%
事業比率	129.8%	125.9%	127.5%

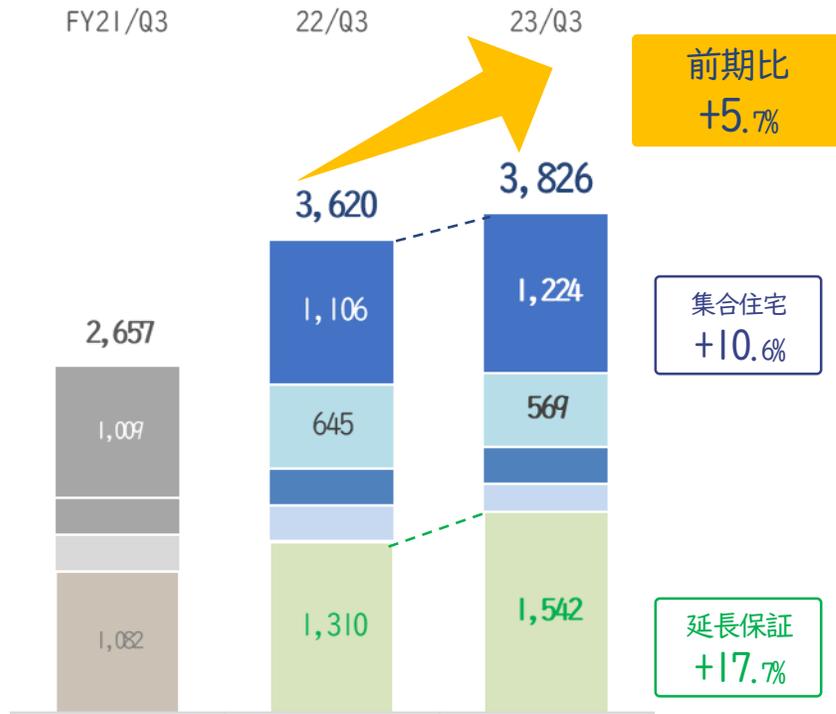
項目	前期差	増減	増減率	説明
合計	前期差	+79		
会員	+3	+0.5%		+26 主力サービスの成長 -22 LINE受付機能追加など受電体制強化に費用計上配賦負担の増加
保険	+47	+13.9%		+156 被保険者の獲得による収益拡大 -109 獲得ペース加速に伴い、準備金の繰入が増加 <FY22> -116百万円 → <FY23> -225百万円
保証	+69	+17.0%		会員獲得による収益拡大
その他	-39			新規事業に係る先行費用を計上
駆けつけ	+74			譲渡により売上・原価・配賦の発生無し
調整額	-75			合併・分割の初期段階で共通費用増、効率化を推進

集合住宅・延長保証を中心に継続成長

ACTGは不採算整理の推進等により会員数は減少

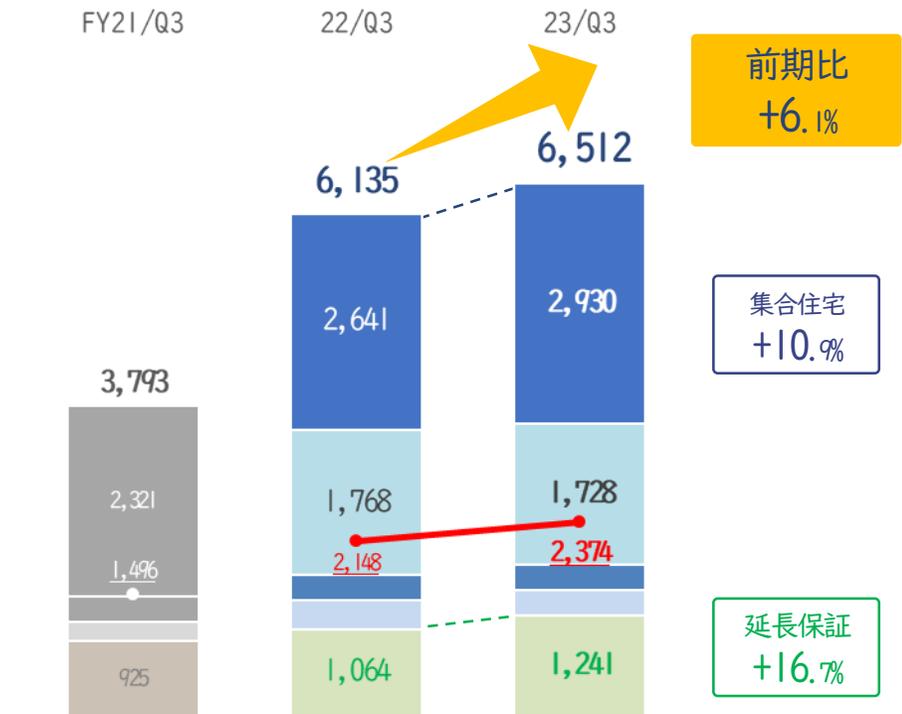
会員数(千人)

順調に会員数を拡大、ACTGは4Qまで減少を見込む



会費収入・出動費(百万円)

会費収入・出動費とも増加、出動費低減策を進める



※ ACTG買収効果がFY22から発現

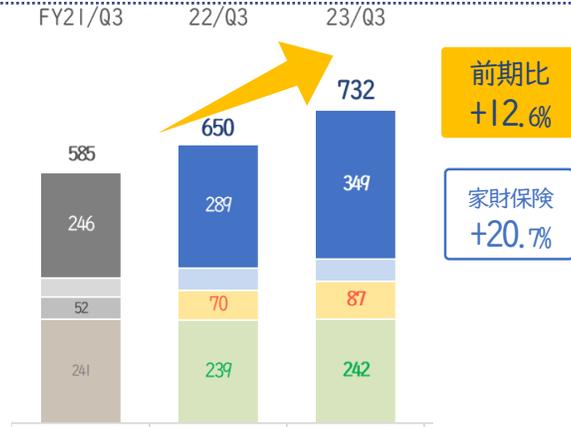
< 凡例 >



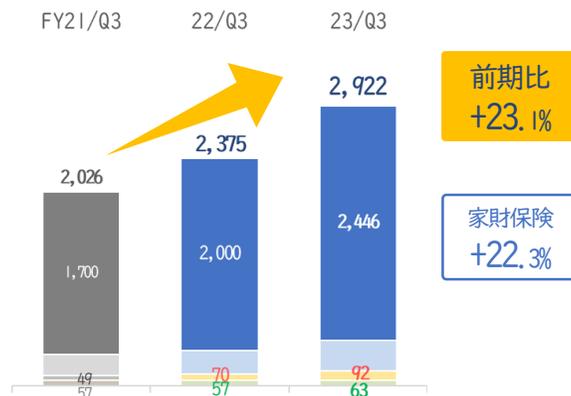
獲得好調 保険料収入は前期比23%超と高成長

特需が一巡し、責任準備金影響が軽減し増益基調へ

被保険者数(千人)



保険料収入(百万円)



連結営業利益に対する責任準備金の影響(百万円)

特需※により成長ペースが急加速し、責任準備金が増加
特需が一巡したことにより、責任準備金もFY23Q3より影響低減



※2022年4月に事業撤退した他社の代理店を引継いだことで、被保険者の獲得ペースが急加速。効果は1年間で一巡。

< 凡例 >

家財保険 その他 スマホ その他

< 凡例 >

FY22 実績 FY23 実績 責任準備金 影響額 営業利益 (予測)

450万件超の安心を提供し、地方創生に貢献するシステム

全ての「困っている人を助ける」ため、様々な販路やサービス内容を拡大中

Mission

困っている人を助ける

Vision

We create the Best Rescue System

いつも暮らしに寄り添い、安心できるベストな仕組みやサービスを創る

Value

正しくあれ : お客さま、仲間、自分に誠実に
 優しくあれ : 相手を敬い、おごらず、謙虚に
 挑戦者であれ : 失敗を恐れず、前に進むことを大切に

サービス例



- ▶ カギ、水まわり、ガラス等の生活トラブル解決サービス
- ▶ あらゆるメーカーの住宅設備を対象とする延長保証サービス
- ▶ 家財保険を中心にユニークな商品を多数展開する保険サービス

サービス契約数

4,562千件

(FY23/Q3末時点)



生活トラブル

延長保証

保険

困っていた人

266,105件

(FY23/Q3)



事業運営・販売の両面でPMIを推進

双方の強みを活用・集約し、組織の一体化を図ることで更に統合効果を最大にしていく

※赤字が3Q進捗箇所

項目	取組み内容	統合効果
1. コールオペレーションの改善	オペレータの1時間あたり対応数(CPH)をKPIとし JBRのCPHである5.0を目安に向上策を進める。 オペレーション上の発信数・作業数を低減する等 JBRのマニュアルも活用しながらコール効率化を図る。	<ACTG CPH> 買収前 1.4 FY23 2.0(現在までのオペレーション改善) FY25 5.0(システム統合効果)
2. システム統合	現状はJBR・ACTGそれぞれのシステムを運用しているため 受付～基幹システムまでの全システムの統合を推進中。 →11月に統合に関わる一部システムが稼働開始予定 システム維持費の削減・効率向上・機能改善に加え 業務統一化によるコール体制の強化を図る。 2025年6月に完全移行完了予定。	<収益改善効果> 完全移行後、年間で200百万円程を想定
3. 部門の統合	2023年 4月に管理部門を統合済。 2023年10月に営業部門を統合予定。 更に1年後、コンタクトセンターも統合することで オペレーション効率を向上させる計画。	<収益改善効果> 管理部門統合効果は、年間50百万円を見込む
4. 不採算案件の整理	取引先別に不採算となっている案件の価格交渉等を実施。会員数・売上は減少するも収益認識性を確保する。 一部、不採算交渉とは別で解約が発生し、下期収益にマイナス影響。	
5. 販売力の強化	不動産賃貸マーケットにおけるシェア・競争力を拡大したため、 大手クライアントのアウトソース獲得営業、新サービスの開発、クロスセルなどの営業施策を推進。	
6. 会員更新率の向上	会員更新率はACTG:45%、JBR:30%と差があるため ACTGの施策を活用し、会員サービス更新率改善を図る。 2Qではテストで33.8%まで更新率の引き上げ効果を確認。 →3Qでは38.2%まで上昇	<収益改善効果> 年間で最大36百万円
7. 事務所の統合	2023年10月に四谷オフィスの営業部門と管理部門の拠点を 東京大手町に統合し、営業部門の組織融合や管理部機能の 効率化を更に進める。	<収益改善効果> 年間約20百万円の固定費削減

新市場へ既存商品を横展開、持ち家市場への展開が加速

伊藤忠商事と協議中の20件以上に及ぶ案件も順調に進捗中

新規提携

展開方針

時期	提携先・業界	サービス	規模
発表済	JAF	生活トラブル	2,100万件
	センチュリー21	生活トラブル	22.9万件
	ハウズドゥ	生活トラブル	-
	東北電力	生活トラブル	790万件
	リビングハウス	生活トラブル	-
	アイ工務店	生活トラブル・延長保証	-
近日	大手社会インフラ	生活トラブル	-
	伊藤忠グループ	生活トラブル	-

サービス	方針
生活 トラブル	オペレーションのDX化やデータ活用を推進 利便性の向上に加え、入電件数を軽減しコスト低減
延長保証	住宅・設備メーカーへの営業注力 商流の川上を押さえた効率的な拡販を追求
保険	提携関係を活かした新商品開発 伊藤忠・ミニミニ等の大口販路も開拓
ラストマイル	既存インフラを活用した新サービス開発 行政サービス支援、住宅点検、高齢者見守り、 自転車アフターサービス、中古携帯回収等

大手戸建注文住宅会社のアイ工務店と提携

住宅引き渡し後の住宅定期点検から点検後のアフターサポートまで、JBRグループで完結するサービスの提供を9月より開始

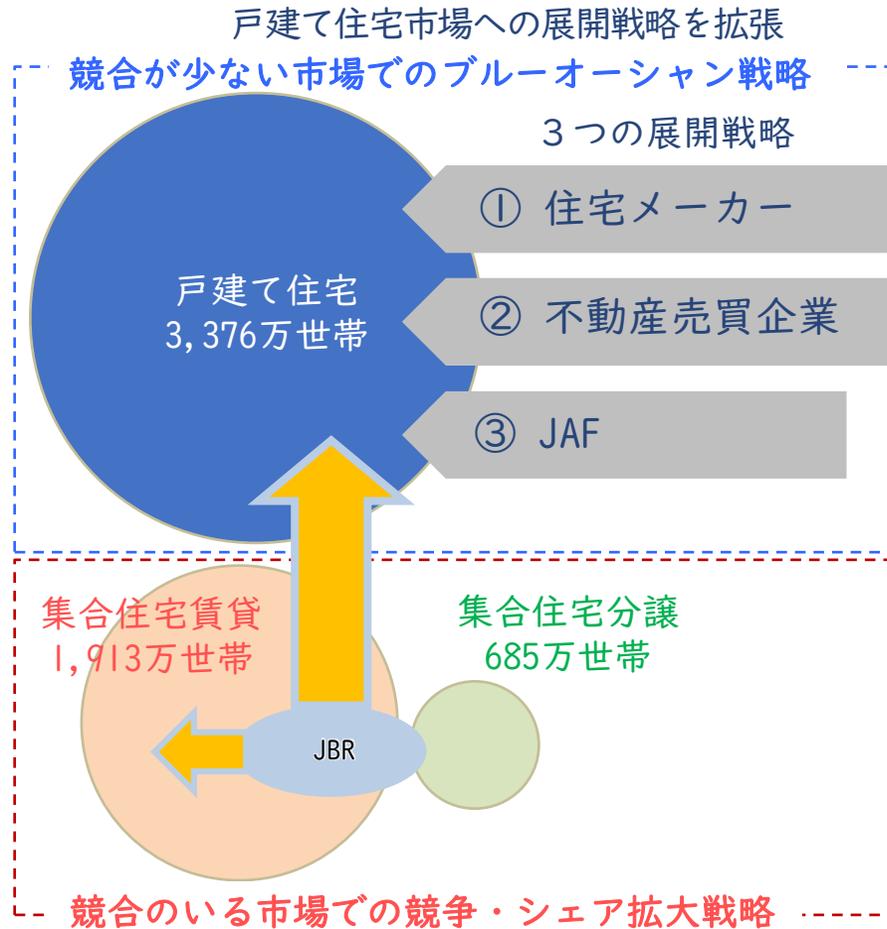
- <提供サービス>
- ・住まいの定期点検
 - ・住宅設備保証サービス
 - ・緊急駆けつけサービス

新市場である戸建て住宅への展開を着実に進行中

住宅施工後のアフターサービスをJBRグループで完結させることで更に戸建て住宅へのカバレッジを広げていく

不動産市場の世帯数分布

新たな展開戦略 ①住宅メーカー



※ 総務省統計局 平成30年住宅・土地統計調査等から当社調べ

1. 3Qを振り返ってどうですか？

増収・増益の着地となり、売上高・営業利益とも過去最高となりました。上期は各事業とも好調に推移したものの、保険事業における責任準備金の影響で減益となりましたが、3Qはその影響が低減し、増益に転じています。

2. 法人税等調整額は今後どう推移しますか？

ACTGを合併したことに伴い、税金の処理方法を統一したことで、繰延税金資産を取り崩し、今期の法人税等調整額が増加したため、純利益にマイナス影響がありました。4Qにおける影響度は軽減していく見込みです。

3. PMIの今後の予定は？

部門の統合と事務所の統合を予定しております。管理部門は既に部門統合し、業務効率化を進めております。営業部門は2023年10月に統合を予定しており、業務効率だけでなく、トップラインを伸ばす更なるシナジーを発揮できると考えております。

4. 責任準備金は今後どう推移しますか？

保険セグメントの特需は一巡し、3Qより責任準備金の影響は軽減しました。前年比影響額 1Q：-64百万円、2Q：-73百万円、3Q：+29百万円 4Qは前期に-158百万円計上しており、前期よりも責任準備金の積み上げは小さくなり、増益に寄与することを見込んでおります。

5. 施工パートナー向け施策は何か講じていますか？

作業品質の統一と底上げを図るため「JBRの教科書」を配布しており、更に施工パートナー様へ多能エスクールを開催し、対応ジャンルや業務の拡大を図っています。今後も、施工パートナー向けサービスの拡充を図ることで、安定的なサービス提供に留まらず、施工パートナー様とのより強固な関係構築や業界の発展に努めてまいります。

6. 通期の今後の見通しは？

会員事業においてACTGの一部解約が発生しますが、主力事業は計画を上回って進捗しており、通期計画の達成と過去最高の売上・営業利益の達成を見込んでいます。

売上高・営業利益が過去最高 将来の売上に当たる前受収益の合計は、110億円超をストック

	FY19				FY20				FY21				FY22				FY23		
(千件)	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3												
サービス契約数	2,531	2,583	2,428	2,482	2,508	2,605	2,867	2,950	3,049	3,176	3,243	3,941	4,005	4,175	4,271	4,292	4,361	4,545	4,562
(百万円)																			
売上高	2,945	3,166	3,074	2,824	2,871	3,124	3,027	3,033	3,156	3,481	3,584	3,238	4,330	4,476	4,570	4,432	4,469	4,738	4,636
営業利益	352	386	385	513	307	343	398	318	375	296	452	283	403	334	436	285	375	350	528
経常利益	396	481	374	714	323	342	437	695	432	382	492	433	369	326	203	273	345	373	530
純利益	257	754	105	521	143	116	250	487	302	238	335	-820	317	201	-144	64	131	191	273
EBITDA	395	429	428	559	352	391	456	378	430	354	518	349	546	478	587	434	519	491	677
(百万円)																			
総資産	14,728	14,865	17,599	18,761	19,075	19,518	20,146	21,204	21,494	22,249	22,903	28,175	27,694	28,276	29,080	27,884	27,357	28,201	28,641
負債	8,703	10,549	9,905	10,657	10,810	12,964	12,835	13,296	13,551	13,954	14,546	16,507	16,763	17,445	18,165	17,081	17,161	17,781	17,908
前受収益 計	5,803	6,095	6,332	6,710	6,807	6,985	7,442	7,640	7,805	8,053	8,616	9,265	9,842	9,992	10,547	10,575	10,595	10,780	11,286
前受収益	1,655	1,751	1,770	1,824	1,815	1,846	1,976	1,982	1,982	2,034	2,173	2,698	3,048	3,089	3,121	3,064	3,018	3,067	3,210
長期前受収益	4,148	4,343	4,561	4,885	4,992	5,138	5,465	5,657	5,823	6,019	6,443	6,567	6,794	6,903	7,426	7,511	7,577	7,713	8,076
純資産	6,024	6,926	7,693	8,104	8,265	6,553	7,310	7,907	7,942	8,295	8,357	11,668	10,930	10,831	10,914	10,802	10,196	10,419	10,733
自己資本比率	40.8%	39.5%	42.5%	42.1%	41.7%	32.0%	34.7%	35.8%	35.5%	35.8%	35.0%	40.2%	38.2%	36.5%	34.4%	35.4%	33.4%	32.7%	33.1%

主力サービスを中心に会員数が増加傾向

(千件)	FY19				FY20				FY21				FY22				FY23		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3												
会員数	2,259	2,310	2,168	2,222	2,245	2,347	2,338	2,399	2,492	2,601	2,657	3,348	3,411	3,569	3,620	3,607	3,680	3,837	3,826
生活トラブル	1,636	1,646	1,464	1,464	1,441	1,500	1,454	1,465	1,506	1,565	1,575	2,216	2,226	2,330	2,310	2,256	2,265	2,359	2,283
集合住宅	840	865	854	870	864	909	897	913	930	964	1,009	1,020	1,038	1,100	1,106	1,122	1,140	1,215	1,224
ACTG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	631	624	640	645	578	573	581	569
大学生	273	300	285	286	286	314	289	290	290	318	288	288	288	316	282	282	282	306	276
dリビング	166	145	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	356	335	323	308	290	275	267	261	285	282	277	275	275	272	276	273	269	256	213
延長保証	622	663	704	758	804	846	883	934	986	1036	1,082	1,132	1,185	1,239	1,310	1,350	1,414	1,478	1,542
(百万円)																			
会費収入	1,109	1,214	1,215	1,108	1,088	1,184	1,169	1,146	1,188	1,280	1,324	1,296	1,997	2,036	2,100	2,069	2,137	2,178	2,195
生活トラブル	893	987	985	857	832	919	904	874	887	972	1,008	969	1,652	1,682	1,736	1,687	1,741	1,768	1,760
集合住宅	626	729	729	669	652	735	727	696	706	786	828	790	847	876	917	937	958	981	990
ACTG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	581	586	600	535	572	580	576
大学生	97	101	100	101	100	104	100	102	103	108	102	102	103	105	102	101	101	103	100
dリビング	78	68	66	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	90	87	88	85	80	79	76	76	77	78	77	76	120	113	115	111	108	103	93
延長保証	215	226	230	250	255	265	265	271	300	308	315	326	345	354	364	382	396	409	435
出動費	573	520	536	397	392	396	376	443	488	519	489	524	701	734	712	740	778	836	760

獲得好調な家財保険に加え、主要商品の被保険者が増加

(件)	FY19				FY20				FY21				FY22				FY23		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
商品数*1	9	9	9	11	12	14	14	14	17	17	17	17	17	18	18	18	18	18	19
少額短期保険	9	9	9	9	9	10	10	10	11	11	11	11	11	12	12	12	12	12	12
損害保険	-	-	-	2	3	4	4	4	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	7
(千件)																			
被保険者数	272	272	259	259	262	258	529	550	556	574	585	593	593	606	650	683	679	704	732
家財保険	182	194	197	201	207	215	221	226	231	240	246	251	257	272	289	302	316	336	349
スポーツクラブ	-	-	-	-	-	-	264	264	246	242	241	240	228	222	239	247	231	232	242
スマホ	-	-	-	-	-	-	-	15	34	46	52	55	60	63	70	81	79	83	87
その他	89	78	61	58	55	42	43	43	44	44	45	46	47	48	51	51	51	52	52
(百万円)																			
保険料収入	484	629	570	493	509	654	597	561	590	734	701	616	638	822	914	827	867	1,053	1,002
家財保険	389	533	471	404	422	574	504	465	490	630	579	502	527	713	759	681	717	903	825
スポーツクラブ	-	-	-	-	-	-	12	17	18	18	19	20	18	18	20	22	21	20	22
スマホ	-	-	-	-	-	-	-	4	11	17	20	21	23	23	23	25	28	30	33
その他	94	96	99	89	86	80	81	73	70	67	81	72	69	66	110	98	99	98	121
責任準備金*2	0	-8	-13	-127	15	-18	28	-38	15	-7	-39	-52	-7	-38	-70	-158	-72	-112	-41

*1 各期末における普通保険約款の数

*2 保険業法に基づく会計処理により、各四半期の営業利益は増減しやすい

JBR

JAPAN BEST RESCUE SYSTEM

注意事項

本資料で記述している業績予想や将来の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、リスクや不確定な要素が含まれています。そのため、実際の成果や業績等は記載の予想とは異なる可能性があることをご承知おきください。

タケウチ オクカワ ジョウノ

本資料・IR問い合わせ先：経営企画部 竹内・奥川・城野

E-mail : ir@jbr.co.jp

UD
FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に基づき、
より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。